

# 社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利活動法人生涯学習サポート兵庫

訪問調査日: 2013年5月15日(水)

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは定款や法人リーフレットに明確に示されており、ホームページやCANPAN(情報公開サイト)でも広く公開されている。非営利組織としての位置付けが定款・リーフレット、決算報告書からも確認できる。組織ミッションを達成するための公益的な基幹事業として、兵庫県を縦断するプログラム「チャレンジウォーク」や無人島キャンプ「チャレンジアイランド」等が円滑に運営されている。	19/24 達成率 79%
	[2]組織ミッションと事業の策定	中・長期ビジョンは、中期ビジョン会議を設け、ファンド計画や企業対策等の内容を盛り込み策定されている状況が確認できる。単年度事業計画は、職員会議・運営会議を通じて、合意形成を図りながら策定されている状況を聞き取ることができる。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	定款に基づき、理事会および最高意思決定機関としての総会が適切に開催されている状況が議事録からも確認できる。運営上必要となるコンプライアンスの把握や「NPO法人のための業務チェックリスト」を活用した取組み、研修への参加等の取組みが見受けられる。法人の経営環境は理事会で適切に把握・管理されている。税務・最終会計処理は税理士が行い、監事による内部監査が行われている。	30/43 達成率 70%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	経営計画書は策定されていない。行政委託事業に依存しないように意識化し、講師派遣事業等の自主事業に注力する他、会費や寄付等による収入の実績も確認できる。納税等は納税証明書からも適切に行われている状況が確認できる。	
	[3]職員と労働環境	就業規則・給与規定・業務分担表等、必要な規定が整備されている。法定福利厚生以外に、「子連れ出勤」や「在宅勤務」等の制度を設け、働きやすい職場環境への取組みが意欲的であり、適切な労働環境の構築に努めている。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	月曜一金曜(10:00~17:00)の事務所機能は明確であり、決められた時間帯において、いつでも電話・来所対応が可能になっている。登記事項の更新、所轄庁への報告等、必要な手続が行われており、事務所に保管されている状況が確認できる。	26/31 達成率 84%
	[2]会計全般	経理に関する管理規定は法人の内規集に規程し、ルールに沿って適切に処理が行われている状況を聞き取ることができる。必要に応じて、顧問税理士のアドバイスを受ける体制がある。また、事務局担当者が「全国NPO会計担当者ネットワーク」に所属している。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	単年度事業計画に基づく事業の推進状況が見受けられる。事業の執行状況等は、ホームページやブログ、facebookでも公開し報告している。事業は、各事業ごとに企画書を作成し、実施しているが、稟議書等意思決定のシステムは確認できない。事業目標(スマートゴール)を設定し、一度度評価が行われているが、次の成果につなげるための評価には工夫が望まれる。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	設立当初から、多くのボランティアの受入れ実績が見受けられ、ボランティア研修等、積極的にボランティア育成に取り組まれている状況を見受けられる。ボランティア・スタッフの紹介がホームページで行われている。同セクター・他セクターとの協働実績が状態的にあることを確認することができる。	16/16 達成率 100%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	法人リーフレット、ホームページ等で、組織の基礎情報を公開し、事業報告等フロー情報に関する適切に更新し、公開に努めている。毎週水曜日、定期的にメールマガジンを発信し、ステークホルダーに対する情報提供が行われている。	18/18 達成率 100%
	[2]第三者による評価	Panasonicや地元社協からの助成実績が確認できる。ニュースアンカー(関西テレビ)やサンテレビ等、多様なメディアに事業の取材を受け、紹介されている。兵庫県「子育て応援元氣アップ賞」受賞歴をはじめ、複数の表彰実績を確認することができる。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	重要書類は施錠できる棚で保管し、パソコンはすべてウイルス対策を行い、データはネットワークで共有し、バックアップを行っている。個人情報の取扱いが内規集で定められている状況を確認することができる。神戸ライフセービングクラブと連携し、救急救命法の研修が行われている。	10/18 達成率 56%
	[2]組織の社会的責任の追求	キャンプ活動を行っている団体と「これからの体験活動を考える会」を構成し、事務局を担っている。環境に関する取組みに関しては、特筆的な取組みは見受けられない。	
【相対評価(セルフレビュー)ノ総括コメント】 当法人は、事業収入の中で大きく占めるのが、「あそびクリエイター(講師)」による出前プログラム(講師依頼)による収入であり、4人の常勤クリエイターと7人の非常勤クリエイターで年間約700件もの指導実績があります。当団体が主催で実施するプログラム、県等から委託を受けて実施するプログラム等、当団体が実施する全てのプログラムに、このあそびクリエイターがプログラム作りとして関わっています。法人の掲げるミッションは、『効率を優先する結果重視の社会』から『過程を大切に評価される社会』へのイノベーションです。ボランティアに対しても、単なる活動のお手伝いという扱いではなく、ボランティアを通じた青少年育成を行っています。「あそび」プログラムの企画や提供を行っている団体だけでなく、「明るさ」「人との繋がり」「手作り感」を大切に運営をしています。 団体として大きく成長する一方で、組織としての体制が追いついていない現状があります。ちょうど今、これから先10年を見据えた中・長期計画を検討しなければいけない時期に来ていると認識しており、組織基盤強化に向けた取組みを行っているところです。 法人としては、「①だれもがそれぞれの考えや生き方を尊重しあえる社会、②地域や多世代を巻き込んだ子育てができる社会、③子どもが考える力、自尊感情をもち、豊かな感情をもって過ごせる社会、④若者が社会力を身に付けられる社会、⑤高齢者の社会的役割を創造できる社会、⑥災害や非常時に助け合えるコミュニティが形成された社会」を目指していきたいと考えています。  本法人は、兵庫県の中播磨地域において、地域や行政等からも信頼と支持を得ながら円滑に活動がおこなわれている状況を見受けられます。子どもから高齢者層まで幅広く、「あそび」「まなび」を通じて豊かな生涯学習プログラムを提供され、意識的に行政に依存することなく、着実に組織づくりを推進してこられたことは高く評価できます。しかし一方で、課題として認識されています通り、現在、組織としての転換期を迎えられています。今後のガバナンスやマネジメントに関しては、しっかりと議論し、組織としての方向性を見定めていただき、今後も地域の生涯教育を推進する機関として発展されますことを期待し、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。			119/150 総合達成率 79%

